

2019年10月17日
大分ケーブルテレコム株式会社

大分ケーブルテレコムと大分南警察署が 「犯罪の起きにくい社会づくりに関する協定」を締結



【調印式の様子】

(左から)ケーブルインターネットZAQのキャラクター「ざっくう」、大分ケーブルテレコム(株)上村社長、大分南警察署 二宮署長、大分県警察マスコットキャラクター「ピンキー」、「パンキー」

大分ケーブルテレコム株式会社(本社:大分県大分市、代表取締役社長:上村 忠)は、2019年10月17日(木)、大分南警察署と「犯罪の起きにくい社会づくりに関する協定」を締結しました。

この協定は、警察署からの安全・安心に関する情報の定期的な提供や、社員へ向けた防犯講演会などを通して、犯罪抑止活動を協働で推進することにより、犯罪のない安全で安心な社会づくりを目指すものです。

大分ケーブルテレコムは、設立当初より地域密着を掲げ、地域の皆さまとともに歩んでまいりました。2018年からは社員向けのプログラムとして「社内部活」を発足し、社員自らが就業時間外の時間を活用して、地域の皆さまや企業・団体とともに地域密着のボランティア活動も行っています。これまで、大分市内の公園や主要道路沿い、海、山などの清掃活動の実施や、災害時のボランティア活動、防災・防犯に関する講習会などに参加してまいりました。

この度の協定締結により、日頃より県内各地を走行している社用車 88 台に「こども 110 番」のステッカーを掲示して、「見える・見せる」防犯活動を行ってまいります。子どもに対する声かけ事案の発生や犯罪の前兆事案、不審者に関する情報、迷子などを認知した場合の声かけ・保護や、警察への速やかな通報などを実施し、地域の防犯の目となるよう活動していきます。

大分ケーブルテレコムは、大分南警察署と連携し、地域の皆さまの暮らしがより安全なものとなるよう、活動してまいります。

<本協定による主な協力事項>

- ① 子どもの安全確保のための保護・見守り活動
- ② 犯罪被害防止に関する広報啓発活動
- ③ 防犯ボランティア活動への参加促進及び支援活動
- ④ 防犯に配慮した環境の整備促進活動
- ⑤ その他犯罪の起きにくい社会づくりの実現に資すると大分南警察署が認める活動

大分南警察署

大分南警察署は、大分市の一部(植田、敷戸、大南、野津原地区)と由布市(挾間町、庄内町、湯布院町)を受け持つ警察署です。由布市湯布院町は全国でも有数の観光地であり、湯布院を中心として由布市内の温泉、施設や祭り、各種イベント等に対する観光客が年間で約472万人訪れています。管内の人口はおよそ15万6千人で、大分市のベッドタウンとして管内には大小70余りの住宅団地があります。また、近年植田地区は、「植田新都心」として開発が進んでおり、大型商業施設等の進出などでめざましい発展を遂げています。さらなる人口増加が予想されている中、事件事故の抑止のために日々活動を行っています。

大分ケーブルテレコム株式会社について www.jcom.oct-net.ne.jp/

大分ケーブルテレコム株式会社(本社:大分県大分市)は、大分県下 11 自治体でケーブルテレビ、インターネット、固定電話、モバイル等を提供しているケーブルテレビ事業会社です。株式会社ジュピターテレコム(J:COM)のグループ会社として、先進性のある高品質な情報・エンターテインメントの提供を通じ、地域社会の発展に寄与することを目指しています。また、「J:COM チャンネル大分」(地上デジタル 11ch)、「J:COM ホルトチャンネル」(地上デジタル 12ch)で地域情報番組を放送しています。